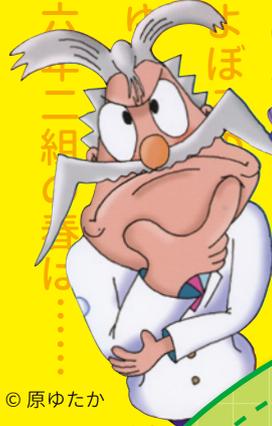


クラマはかせのなぜ

©原ゆたか



赤毛のポチ
泣こうかとぼ
チンタクはへ
赤い靴 ばけ



©堀田あきお

児 童 読 物 作 家

やまなか

ひさし

山中 恒

子どもと物語で遊ぶ展

ママはおばけだって！
この船じごく行き おへそに太陽を
六年四組ズッコケ一家 天文子守唄

サムライの子 幽霊屋敷で魔女と

おれがあいつであいつがおれで



©長谷川集平



©庭



©石坂啓

2016年 1月16日[土] → 3月21日[月・祝]

[休館日] 毎週月曜日(ただし3月21日は開館)、2月12日(金)、3月10日(木)

[観覧時間] 10:00 ~ 17:00

[協力] 市立小樽文学館、偕成社、KADOKAWA、小学館、P.S.C.

[観覧料] 無料

町田市民文学館ことばらんど

山 中 恒 - 子どもと - 展
物語で遊ぶ

子どもたちに
数多くのエンターテインメント作品を
届け続けている作家・山中 恒 (1931-)



「山中恒児童よみもの選集」全20巻 (1977-1989年、読売新聞社) 山中恒氏蔵



山中恒(自宅にて) 2015年10月 ©タカオカ邦彦

山中さんは、本を手に入れることが難しかった戦時下に幼少期を過ごしました。友だちの家をめぐる歩いて軍事冒険物語や怪奇・探偵小説といった大衆の児童読物に読みふけり、さらには大人向けの時代小説や恋愛小説に手を出すほど物語に夢中になりました。戦後、たまたま手に取った宮沢賢治の童話に感動して、自らも子どもの本の作家になることを志し、1950年に早大童話会に入会するため早稲田大学に入学。そこで出会った鳥越信、古田足日、神宮輝夫とともに転換期の日本児童文学を牽引しますが、次第に訓育主義的な傾向になる児童文学に異議を唱え、独自の道を歩み始めます。

山中さんは児童文学者ではなく「児童読物作家」を自称し、常に目の前の子どもを見つめ、流行を積極的に取り入れながら、その時代を生きる子どものありのままの感情や言動を軽快に描いています。『ぼくがぼ

くであること』(1969年)、『あばれはっちゃく』(1977年)、『おれがあいつであいつがおれで』(1980年)などの娯楽性の高い作品は読者から絶大な支持を得、映画やテレビドラマなど映像化されたものも多く、幅広い年代に親しまれています。近年では、旧作に手を加えた新装版が出版され、その物語が持つ普遍的なおもしろさに改めて注目が集まっています。また、町田市で過ごした頃に執筆した、戦時下での体験をまとめたノンフィクション「ボクラ少国民」シリーズ(1974-1981年)や、戦時教育・戦時児童文学の研究も高い評価を受けています。

本展では、創作活動の原点から現在までをたどりながら、魅力あふれる作品の数々をご紹介します。物語を通して子どもたちと対話し続けてきた山中さんの、子どもたちへのねがいを感じていただければと思います。



幼少期に読んだ物語をはじめとした戦時資料コレクション 山中恒氏蔵



原稿「ぼくがぼくであること」市立小樽文学館蔵 角川つばさ文庫版「ぼくがぼくであること」(2012年、角川書店) 当館蔵



映画「転校生」ポスター (原作:『おれがあいつであいつがおれで』) 市立小樽文学館蔵

関連イベント

1 講演会

- ①山中恒作品の魅力—子どもに人気の理由を探る
 - 講師: 野上暁(児童文学評論家)
 - 日時: 2月6日(土) 14:00 ~ 15:30
 - 会場: 町田市民文学館 2階大会議室
 - 定員: 80名(申込順)
 - 申込: 1月11日(月・祝) 12:00 から 町田市イベントダイヤル(042-724-5656)にて
- ②子どもの本のねがい—児童読物作家として
 - 講師: 山中恒
 - 日時: 3月6日(日) 14:00 ~ 15:30
 - 会場: 町田市民文学館 2階大会議室
 - 定員: 80名(申込順)
 - 申込: 2月1日(月) 12:00 から 町田市イベントダイヤル(042-724-5656)にて

2 映画「あの、夏の日—とんでろじいちゃん」トークショー&上映会

- トークショー: 山中恒、大林宣彦(映画監督)
- 日時: 2月27日(土) 13:00 ~ 15:30
- 会場: 町田市民フォーラム 3階ホール
- 定員: 180名(応募者多数の場合は抽選)
- 申込: 往復はがきに氏名、年代、住所、電話番号を明記し2月6日(土)必着で町田市民文学館「山中恒展 映画上映会」係まで。グループで申込の場合は、全員分を明記してください。

3 朗読会「耳で楽しむ山中恒の世界」

- 朗読: 局田奈都子(俳優)
- 日時: 2月20日(土) 15:00 ~ 16:00
- 会場: 町田市民文学館 2階大会議室
- 定員: 60名(先着順)
- 申込不要(直接、会場にお越しください)

4 ギャラリートーク

- 日時: 1月26日(火)、2月14日(日)、3月8日(火)、3月21日(月・祝) いずれも 14:00 ~ (40分程度)
- 申込不要(直接、文学館 2階展示室にお越しください)



町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-16-17
TEL 042-739-3420 FAX 042-739-3421

- JR 横浜線「町田駅」ターミナル口より徒歩 8分
- 小田急線「町田駅」東口より徒歩 12分

